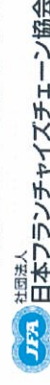


レジ袋削減へのJFAとしての取組みについて

平成21年1月15日



(社)日本フランチャイズチェーン協会(JFA)加盟コンビニエンスストア(CVS)では、CVSの業態特性として弁当・惣菜等レンジアップの提供も多く、飲料・氷・アイスクリーム等は冷蔵・冷凍で提供され、品質管理・安全・衛生面等の観点から商品の一部(サービス)としてレジ袋を提供しています。また、最寄品であり衝動買いが中心であり、マイバッグを持参しての来店は期待できない等の観点から、『CVSにはレジ袋有料化はなじまない』と考えています。

そこで、「声かけ」をはじめとする従来からの基本的な取組みの強化・徹底に加え、一般消費者に対する啓蒙活動を図ることで「レジ袋削減」に取り組んでいます。

1. JFA統一での取組み

(1) 実施期日 2006年6月1日(木)よりスタート

(2) 実施対象 CVS12社 42,264店舗(2008年11月末現在)

会社名	店舗数
㈱エーエム・ピーエム・ジャパン	1,131店舗
国分グロースーザーズチェーン㈱	191店舗
㈱ココストア	888店舗
㈱サークルKサンクス	6,135店舗
㈱スリーエフ	655店舗
㈱セイコーマート	1,032店舗
㈱セブン-イレブン・ジャパン	12,094店舗
㈱デイリーヤマザキ	1,647店舗
㈱ファミリーマート	7,318店舗
㈱ポプラ	718店舗
ミニストップ㈱	1,921店舗
㈱ローソン	8,534店舗

(3) 目標値の設定

CVS各社では、容器包装リサイクル法完全施行スタート時(2000年度)より、レジ袋削減に取組み(レジ袋の薄肉化、声かけの徹底、適正サイズの利用徹底等)、2007年度においては2000年度比約25.5%(12社平均)の削減が図られています。レジ袋が必要不可欠な商品〔レンジアップ商品(弁当、惣菜等)、冷蔵・冷凍商品(アイスクリーム、氷、飲み物等)〕があるものの、更なる削減に向け最終削減目標値(2010年度)を35%削減(2000年度比)と設定し、段階的(5ヵ年計画)に以下の通り取組んでいます。

年度	目標値(2000年度比)	取組結果
2006年度	1店舗当たりの使用総重量を20%削減	19.7%
2007年度	1店舗当たりの使用総重量を24%削減	25.5%
2008年度	1店舗当たりの使用総重量を28%削減	
2009年度	1店舗当たりの使用総重量を32%削減	
2010年度	1店舗当たりの使用総重量を35%削減	